

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第1回地域移行・地域生活支援部会			
(2) 開催日時	平成29年6月7日(水) 10:00~12:00			
(3) 開催場所	消費者生活センター第4集会室			
(4) 出席した委員、事務局	委員 (部会長：青山 明子) <敬称略>			
	白井 絵里子	山根 聖子	相原 美晃	鶴田 雅英
	栗田 総一郎	志村 陽子	齋藤 信子	林 達彦
	秋葉 照美	内藤 啓介	井岡 幸子	山田 悠平
	岡田 あい子	帯瀬 和明	伊藤 明春	山田 紗梨
	藤巻 裕佳子	川島 浩子		
	区職員：小島 彰子 事務局：酒井 敏彦（障害福祉課長）、 小野寺 修・岩下 裕輔・関根あずさ（障害福祉課） 森田 好美（障がい者総合サポートセンター）			
(5) 内容・要旨	<p>1 出欠者・配布資料の確認</p> <p>2 部会長選任の確認→昨年に続き青山委員</p> <p>3 司会・書記の確認 司会：本日は青山委員部会長→次回以降は作業部会の中で輪番制 書記：齋藤委員→出席状況により</p> <p>4 自己紹介</p> <p>5 連絡事項</p> <p>(1) 平成29年度第1回本会(4/28)の開催について →HPに会議録載せている。</p> <p>(2) 平成29年度の大田区自立支援協議会の構成について</p> <p>(3) 平成29年度の区事務局担当者及び連絡先一覧について →事務連絡等についてサポートセンターと障害福祉課の共同事務局。 第二回本会以降はサポートセンターから連絡がいく。</p> <p>6 議題</p> <p>(1) 作業部会選出→青山部会長、山根委員、相原委員、鶴田委員、栗田委員、志村委員、齋藤委員、秋葉委員、山田委員 ※専門部会に向けて下準備。全8回を目途に開催予定。別途必要な時は検討。</p> <p>(2) 編集委員選出→山田委員 ※自立支援協議会だよりの作成。編集会議にも参加あり。</p> <p>(3) 昨年度の振り返り</p> <p>(4) 今年度の進め方・検討課題について 今年はどういう風に進めていくのか。</p> <p>・1年目：精神、2年目：医療的ケアのある方とやってきて地域の中にはどんなサービスがあるのかだせた。今年はどうしたらサービスを</p>			

使っていけるのか。具体的に検討できたらよい。

- ・仮定でもいいので、障害を持った人が地域でどんな風な生活ができるのか。

- ・中間報告の3ページ目：地域移行給付が精神障がいの方以外でも使えるのか。

- ・課題の抽出はできている。成果が見える形にしていきたい。

- ・自立支援協議会は動けるのが最大のメリット。今ある課題を切り分けて、手の届くところから取り組んでいきたい。全障害でかかっている課題から取り組めるとよい。

- ・昨年度、部会名称を地域移行→地域移行・地域生活支援に変更。現状も含めて再確認したい。

- ・昨年行った精神だけでなく知的のストーリーを考えていけたらよい。アウトプットできるような形にしたい。

- ・3障害の方たちも目に見える形があるとよい。使える資源のリストをつくっていくのはよい。

- ・昨年作成した使える資源 Ver1 をバージョンアップしていくのはどうか。

- ・索引のようにしていく。こんなときどうしたらを考える。

- ・ストーリーじたてのようなものは考えやすい。措置を本人は望まないのに選ばざるを得ない状況なので。仮定のストーリーでもよい。

- ・ここでの話し合いを大田区がどう受け止めてくれているのか。どうなったのか。今年度で区切をつけて進めていきたい。大田区としてのスタンスを示してほしい。

- ・2年間で出てきた課題を次回示せるとよい。

- ・当事者・支援者の望むものがあれば形にしていきたい。

- ・介護サービス事業者ガイドブック「ハートページ」のようなイメージできるものがあればよい。

→以上の意見から作業部会でまとめる。

(5) 年間スケジュールについて

- ・10月と3月にやる必要があるのでは。→臨機応変に対応したい。

- ・作業部会と部会が1週間しかないか→担当にも頑張ってもらい、周りも協力してこれで進められたらよい。

- ・12月年度末きびしい。→変更も考える。

- ・3月の本会はこの日程では遅いのでは。→この日程で。

7 委員及び関係機関からの情報提供

(1) 「ご意見カード」の記入について→昨年度に続いて今年度も記入をお願いしていく。今年度については、作業部会で検討、何かしらの返しを行っていく

次回日程 作業部会：平成29年7月19日

部会：平成29年7月26日